



1 3年生はオンライン授業を実施しました

■冬休みが明けてから、全国的に新型コロナウイルス、特にオミクロン株の感染拡大が急速に広がり、福岡県においても連日のように過去最高の感染者数が報道されていました。

3年生にとって1月下旬から2月初旬は、私立高校の専願入試や前期入試、公立高校の推薦入試などが行われ、中学卒業後の進路を決定する重要な時期です。

■そこで、できるだけ人との接触を避け、感染の不安を取り除き安心して入試に臨めるように、3年生は1月26日(水)～2月3日(木)まで太宰府市一斉でオンライン授業を実施しました。

朝の会は、それぞれ学級ごとに担任が出席確認を行い、授業については、1時間ずつ、学年一斉に配信しました。これまでに、何度かオンライン授業のテストを行ったり、実際にオンラインによる行事を行ったりしてきたこともあり、初日からスムーズに授業を行うことができました。

■オンライン授業だと、教師が一方向的に話す講義型の授業になるのではないかと心配しましたが、挙手ボタンで手を挙げて発表することもでき、対面に近い形で授業ができたようです。しかし、タブレットの画面が小さいため、黒板に書かれた文字が見えにくかったり、画面に集中しないといけないため、かなり目に負担がかかったりした、という生徒の感想も聞かれました

■2月7日(月)から3年生は通常の対面授業に戻りましたが、まだまだ、コロナの感染状況は油断できない状況です。これからも学校では換気、手洗い、消毒、マスク着用、三密回避等、感染対策を徹底しながら教育活動を継続していきます。ご家庭におかれましても、お子様の体調管理や不要不急の外出の自粛等、感染対策にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、3月8日(火)、9日(水)の公立高校入試前の3月1日(火)～7日(月)の期間も、感染拡大防止と、安心して試験に臨むことができる環境づくりのため3年生はオンライン授業を実施する予定です。



2 体育館演台とサッカーゴールを寄贈いただきました



■このたび、太宰府市にお住まいで、お子様が本校を卒業された元PTA役員の方から、太宰府中学校に新しい体育館用演台とサッカーゴールを寄贈いただきました。その方は、「子どもが中学校に通っていた頃に大変お世話になった。太宰府中学校のために、何かできることはないか」という有り難い申し出をされ、今回の寄贈の運びとなりました。



■昨年度、本校体育館が改築され新しく生まれ変わりましたが、ステージに置かれた演台は古いままで、動かすのも大変でした。新しい演台はスタイリッシュで移動もスムーズです。また、現在使用中のサッカーゴールは平成2年に福岡県で開催された「とびうめ国体」の時に購入されたもので、非常に古くて重いため移動させるのが危険でした。寄贈されたサッカーゴールは、重量も軽くなり、ゴールネットは六角形で、本格仕様です。二つとも末永く大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

3 人権学習を行いました

■太宰府市では、子どもたちが部落差別について正しく理解し、間違った情報に左右されない科学的な正しい認識を持つことを目的として、系統的な人権・同和教育を行っています。

その取り組みのひとつに、「人権教育9カ年カリキュラム」があります。この「人権教育9カ年カリキュラム」は、同じ中学校ブロックで生活する児童生徒の小学校1年生から中学校3年生までを見通して、育てたい資質・能力を細分化し、発達段階に応じた授業が行われています。

■今年の1月26日(水)、本校1年生で9カ年カリキュラムの授業「教科書無償の闘い」を行いました。本来なら、太宰府小学校の先生方も一緒に授業を参観していただき、研究協議の中で、それぞれの学校での人権学習の取り組みについて共有する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、小学校からの参観は見送られました。

今回の授業では、教科書が無償になった経緯について紙芝居を使って学習しました。教科書が無償になるために運動を続けてきた人々の思いを感じ取らせながら、差別のおかしさに気づき、根拠のない偏見を許さない態度の育成を目指しました。

■授業を受けた子どもたちは、真剣なまなざしで紙芝居に注目し、教科書無償運動を続けていった親たちの思いを考えて発表していました。この学習を通して、子どもたちは「今日の学習を通して、自分たちから差別をなくしていく行動をとり、よりよい社会にしていきたい」といった感想を持っていました。

■中学校の人権教育9カ年カリキュラムは、2年生では、「識字学級」、3年生では「統一応募用紙」を実施しています。3年間を通して、自他の人権を尊重する豊かな人間性を育てていきます。



4 福岡県中学校美術展

■2月1日(火)から7日(日)まで、福岡県立美術館で、福岡県中学校美術展が開催されました。この展示会は、毎年福岡県内中学校の優れた授業作品が選ばれ、そのよさや美しさを鑑賞できる機会となっています。

■本校からも1年生6名、2年生9名、3年生は17名の作品が展示されました。1年生は、遠近法を活用した奥行きを感じさせる風景。2年生は、前期に描いたピクトグラム(絵文字)を使って新型コロナウイルス感染防止を訴える表示。そして後期に描いた学校生活をテーマにした四コマ漫画。3年生は、前期に作った印鑑の石材を使って、自分へのトロフィーを抽象的なデザインで制作しました。

■どの作品も見応えある出来映えで、鑑賞に訪れた来館者からは、「どうすれば、こんな美しい表現ができるのだろう」「中学生とは思えない技量だ」と感想をいただきました。

出品された生徒には、主催者から今後の活躍を祈念した「美を讃えて」の賞状をいただいています。後日、生徒に渡して行く予定です。

